

# ガレージングEXPO2014

@ 朝日住まいづくりフェア 2014



5月30日～6月1日の3日間、東京ビッグサイトで「ガレージングEXPO2014」が開催された。例年同様、今年も「スタイルハウジングEXPO」「リフォーム&リノベーションEXPO」「住宅設備・建材EXPO」も併催され、快適な家、趣味空間を提案する専門展示会として多くの人々が来場していた。ここでは多数の出展ブースの中から、ガレージに関するものを中心にご紹介しよう。

## グリーンベル/セーフティライフ/エステック/金剛産業

株式会社グリーンベル phone:0120-417-127 <http://green-bell.co.jp/>  
株式会社セーフティライフ phone:052-221-8684 <http://safety-l.com>  
株式会社エステック phone:084-959-2212 <http://stec.asia/>  
金剛産業株式会社 phone:03-3534-1825 <http://www.kongo.net>

グリーンベルの「ビッドガレージ」にエステックのリフト、排気ガス排出システムの「EG WayOut」、そして金剛産業のオーバードア「ルート66」を組み合わせた4社合同出展のブース。見所が豊富なだけに、多くの人々がそのクオリティを確認していた。MAC-TOOLSの工具やコカローラなどサインも展示され、実際のガレージライフをイメージしやすくレイアウトされていたのが印象的だった。



セーフティライフは、鮮やかな赤が印象的な「EG WayOut」MAC-TOOLSコクモモデルを展示。持ち込んだC3コルベットに合わせてサイド出しマフラー用アタッチメントを設置すると、クルマに合わせて最適化する「EG WayOut」の新たな可能性を示していた。

左/中右リフトの販売、施工を得意とするエステックは、ビッドマン製のリフトを設置。2輪4輪用リフトやタイヤチェンジャーなど、本格的な整備機器がお手頃な価格で設置できることなので、格好している方は多い。合わせて「名」マクガールズやミニジパンが持ち込んだツールボックスやコカローラグッズがブースを彩る。こうやってきれいに飾られていると、ほくほくしてしまうのはもちろん、ディスプレイの参考にもなる。



## レムコ

株式会社レムコ  
phone:042-788-2688  
<http://www.remcodeor.com/>

住宅用のデザインガレージドアにいち早く取り組み、高い実績を誇るレムコ。今年も同社の主力商品をディスプレイし、そのデザインと性能をアピールしていた。シャープで美しいフラットデザインの「メタルフラットドア」や、ビルトインガレージに最適な「スチールフラットドア」など、多彩なバリエーションで展開し、来場者が熱心に話を聞いていた。

毎年恒例の「キャンペーン」と称する自主企画は今年も実施。会場限定特価で手に入ることで、品部とのマッチングを想像しながら検討する客が多数見られた。



## ジェイスタイル・ガレージ

ジェイスタイル・ガレージ株式会社  
phone:0120-485-296 <http://www.js-g.co.jp>

ジェイスタイル・ガレージの「シダースヘッド・ボードハウス」も、常に人が訪れ、問い合わせを受けていた商品のひとつ。木製キットガレージの老舗だけに、品質はもちろんバリエーションも豊富で、用途に合わせたキット選びをサポートしてくれる。



カナダ産レッドシダーの風合いを活かした暖かみのある専用設計のガレージ。カヌーやカヤックもすっぽり収まる6x12タイプは、030x1,520x1,520mmで52万円(税別)。

## 三和シャッター

三和シャッター工業株式会社  
phone:0570-063011 (ナビダイヤル) <http://www.sanwa-ss.co.jp/>

ガレージ、ホビールームとブースの中に入ったイメージを設定していた三和シャッターは、「ゼクライト」「エレガ」など、発売前の新商品たちが来場者を出迎えた。ガレージの舗だけに、実際にクルマが入り、趣味部屋の雰囲気と共に展示されたドアに、イメージを膨らませていた人が多かった。

アルミ製の「スパイラルシャッター」は、動きの美しさが際立っていた製品。食品工場や研究所など、内外気の移動を促したい場所で使用するタイプで、まだガレージへの設置例はないようだが、従、騒音対策に効果を発揮しそうな製品になるアイテムだ。





## solasio (ソラシオ)

株式会社 solasio  
phone:0466-35-7770  
http://www.solasio.co.jp



「自然と人、趣味と暮らしの調和」をテーマに家作りに取り組んでいるというソラシオは、ガレージや趣味の家を中心に施工事例を展示していた。独創的な形でありながら無垢材の暖かみも感じられる家の模型を見ながら、イメージを膨らませていた人が多数見られた。

## クルー

株式会社クルー 48プロダクト事業部  
phone:03-3625-4800  
http://www.48product.com



強固な柱と梁の組み合わせで、空間を立体的に活用できる「ハウスインナー」は、床に置くだけで狭くなってしまうアイテムを吊り下げるのに役立つ。組み立てが簡単でできるほか、サイズオーダーも可能なため、賃貸ガレージにもマッチするだろう。

## ダイナオガレージファクトリー

有限会社ダイナオ建築  
phone:0538-55-6655  
http://dainao.net/

バイクガレージをメインにスチール骨格のガレージを提案するダイナオガレージファクトリー。金剛産業の「オーバードア」とも絶妙なマッチングを見せるこのガレージ、ベーシックなバイク1台用が45万円(税別)で、カスタムの要望にも応じてくれる。



## フリーダムアーキテクツデザイン

フリーダムアーキテクツデザイン株式会社  
phone:0120-489-175  
http://www.freedom.co.jp/



スタイルハウジングEXPO エリアでは、フリーダムの実例模型が圧巻の展示数で来場者を出迎えた。全国に事務所を展開し、多数の実績を誇る同社ならではの設備力、ガレージやミーティングの情報を発信するサイト「Carくらす」も要チェックだ。

## ハチヤマテリアル／アレンジコンクリート



株式会社ハチヤマテリアル  
phone:0274-50-7111  
http://www.hachiya.co.jp/  
株式会社アレンジコンクリート  
phone:048-797-6738  
http://www.arrange-concrete.co.jp/

多様なスタンプコンクリートを得意とするハチヤマテリアルは、ガレージの内外装に活用できるコンクリートおよびモルタル造形を展示。施主のイメージに合わせてデザイン、施工が可能とのこと、ガレージデザインの幅が広がろう。

## 鵬プランニング

株式会社鵬プランニング  
phone:0120-009-788  
http://www.hoh-planning.co.jp/



住宅エクステリアを得意とし、多数の実績を誇る鵬プランニングは、アメリカンな雰囲気満点のスチール製ガレージ、その名も「アメリカンガレージ」を持ち込んでアピール。サイズ展開や仕様も豊富なことなので、気になる方は詳細を問い合わせしてみよう。

## HKS (エッチ・ケー・エス)

株式会社エッチ・ケー・エス  
phone:0544-29-1105  
http://www.hks-global.com

日本を代表するサスペンションメーカーであるHKSは、その技術を活用して開発した制震装置「HKS MERシステム」を展示。木の弾力を活かし、ショックアブソーバーでその揺れを制御するという考えで、新築、既存にかかわらず設置可能とのこと。



## ジャパンガレージングクラブ

株式会社リビング百十番ドットコム  
phone:03-5348-7533  
http://www.garage110.com/

コストの安さや、住み替えの気安さから、ますます注目度が高まっている賃貸ガレージだが、企画運営を行うリビング百十番ドットコムも最新物件を展示していた。今後も様々なタイプの賃貸ガレージを企画していくとのこと、一度確認してみよう。

セミナーも大人気!



当日は「住まい」に関する様々なセミナーも実施された。ガレージに関するセミナーでは、本誌でもお馴染みの大内蔵氏、松永基氏、倉島理氏という3名の建築家に加え、本誌「石原もガレージ」の現状について語った。専門家の話を聞くことができる機会とあって、多くの人が真剣に耳を傾けていたのが印象的だった。



## Special Import Car Show Premium 2014

Photo/Rosso編集部

### 国内唯一の輸入車ショー

今年はガレージングEXPO2014と同時に開催で、4年ぶりにSIS(スペシャルインポートカーショープレミアム)が5月30日～6月1日に行われた。会場にはレアな最新のスーパーカーから往年のヴィンテージカーまでが勢ぞろい。屋外スペースでも、31日にお台場・ヴィンテージカーミーティング、1日にはお台場・スーパーカーミーティ

ングが開催され、こだわりのカスタムカー、マニア垂涎のヴィンテージカーが会場に集結した。住宅に興味のある方も、スーパーカーに興味ある方もまとめて楽しめるイベントというわけだ。多くの来場者で成功をおさめたこのイベント、来年は2015年6月5～7日となっている。詳細はHPなどで確認してほしい。http://www.sis-t.net/

各スーパーカーを得意とするROSSOもブースを設け、テーマは「現代のスーパーカー・ランボルギーニ」ということで、ミウラ、エンセラ、ディプロGT-Rなどを一堂に展示。右/特設ステージで披露されたミニタイプ。ミュージシャンやダンサーたちが、会場をよりヒートアップさせた。



敷内だけでなく、屋外にもスペシャルなインポートカーがズラリ、クラブやショップなどに趣向を凝らした展示や催しも行われ、かなりの盛り上がりを見せていた。



上/ROSSOブースに展示されたカーニングセグCGXも、美しいカラーリングと独特のデザインで注目を集めていた1台。下/ため息が出るほど美しい快車が保たれたミウラ400S。グリーンにペイントされた流線型ボディが、スーパーカー好き、ヴィンテージカー好きのどちらをも魅了していた。